

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 5-2(212)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和5年5月25日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

学級 PTA 時の託児支援

市来小学校では、4月12日（水）の学級PTAと26日（水）のPTA総会に併せて託児支援がありました。事前申込みのあった児童・幼児が対象で12日は13名、26日は14名を受け入れました。

小学生は宿題を終わらせた後、4名の支援者の方々と一緒に読書、折り紙、レゴ等で時間を過ごしました。

また、支援者から「塗り絵」があったら、児童は「時間を有意義に過ごせるのでは」との意見があり、今回から「間違い探し」も併せて用意し、希望する児童に配付しました。

児童には思ったより好評で、支援者に寄り添い一緒に楽しんでいました。



支援者の方々と一緒に遊具で遊びました

照島小学校でも4月18日（火）の学級PTAの時間帯に併せて託児支援がありました。こちらも事前申込みのあった児童・幼児が対象で11名を受け入れしました。

宿題を終わらせた後、3名の支援者と一緒に読書、塗り絵、折り紙等で時間を過ごしました。

塗り絵は、特に女子に講評で、色鉛筆で上手に描いていました。中には2枚目、3枚目を描いている児童もいました。

同じ塗り絵でも、塗る色が違うと異なるアートになりそれぞれで特徴ある塗り絵ができ、子どもたちは大変満足そうでした。

初めて顔を合わすということもあり、最初はおとなしい状況でしたが、時間が経つと支援者とも打ち解け、児童から話しかけるようになり、和やかな雰囲気ですぐ事が出来ました。



絵本の読み聞かせや折り紙遊び

玉ネギ収穫

羽島小学校では、昨年11月に植えた玉ネギの収穫体験を3年生9名、4年生8名の合計17名で実施しました。

4月28日(金)は、天候もよく羽島交流センター近くの畑での収穫体験で4名の支援者の方々が対応してくださいました。

今回収穫するマルチ栽培の玉ネギは、現3年生が昨年11月に植えたものです。

シートの上から顔を出した玉ネギを見て、児童は興味津々。支援者から収穫時の注意説明を受けたあと、早速、収穫用の袋を片手に玉ネギを引き抜きました。比較的大きなものから引き抜いていましたが、「小さいのも美味しいよ。」と説明があると残っていた小さな玉ネギも引き抜いていました。支援者によると「今年は冬季の降雪の影響で育ちが多少悪かったですが、味には影響ないですよ。」とのことでした。

引き抜いた玉ネギが一つの袋がいっぱいになり、二つ目の袋をもらい収穫する児童もいて、いろいろな工夫をして持ち帰りの準備をしていました。

「玉ネギを使った料理は何があるかな」と、児童に問いかけるとカレーの他、肉ジャガやポトフといった回答もありました。

「玉ネギの植付けから収穫までの間にも生育途中の観察やきついこともありました。」と支援者の枇榔さんが話してくださいました。

今回、収穫した玉ねぎを使って「次はカレーを作る計画をしています。」と支援者が伝えると児童は喜んでいました。

このような機会を体験する事で、子供たちは食物の生産から食生活へのサイクルを理解し、当たり前のように食卓に並べられる食べ物の有難さを認識してもらえればと感じました。



収穫前の注意説明がありました。



一斉に引き抜きにかかりました。



収穫後に支援者の方々と記念撮影

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課

(Tel 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ

統括コーディネーター (有元 操・藤崎 裕史)